

# 農業者年金に加入を

農業者年金事務局  
☎66-2111 内線251

農業者年金は、国民年金の上乗せ年金として終身受給できる農業者のための年金制度です。安心な老後生活に備えるため、農業者年金への加入を考えてみませんか？

■農業者であればどなたでも加入できます  
年間60日以上農業に従事する60歳未満の人で、国民年金第1号被保険者（国民年金の保険料納付免除者を除く）であれば、どなたでも加入できます。

■積立方式の安心な制度です  
加入者が積み立てた保険料とその運用実績で将来の年金額が決まる「積立方式」です。加入者や受給者の数の影響を受けないため、少子高齢化時代でも安心できる制度です。

■保険料の額は自由に決められます  
保険料は、月額2万円から6万7千円までの千円単位で自由に選択できます。経営状況や老後設計に合わせて、いつでも見直しができます。

■80歳までの保障がある終身年金です  
年金は65歳から終身受取ることができます。60歳からの繰上受給もできます。仮に80歳前に亡くなったとしても、80歳までに受け取るはずの老齢年金が死亡一時金として遺族に支給されます。

■税制面での優遇措置があります  
保険料の全額が、社会保険料控除の対象となります。受け取った年金も公的年金等控除の対象となります。

■担い手には保険料の国庫補助があります  
39歳以下の認定農業者やその家族など一定条件を満たす人には、保険料2万円のうち、4千円から1万円の範囲で国からの助成が受けられます。

## 加入者の声

「安心で節税にもなる年金制度」50代に入り、老後の生活や健康について切実に考えるようになりました。農業者年金はいつでも加入でき、掛金は全額が社会保険料控除対象なので、節税にもつながると勧められ、加入しました。家計の状況に合わせて、いつでも保険料の見直しができるのも安心です。



橋本 太さん  
(52歳・小屋瀬)



## 来年3月完成予定 グリーンテージ浴室リニューアル 新浴室の概要と特徴をお知らせします

来年3月の完成を目指し、グリーンテージ浴室の改修工事が本格化しました。新しい浴室は、既存の施設と比べて空間が一回り広くなるほか、床暖房や電気風呂が設置され、利便性と快適性が向上します。

- 構造 鉄骨造平屋建て
- 規模 浴室棟299.20㎡、渡り廊下53.71㎡
- 新浴室の概要
  - ▷浴室 浴槽、サウナ室、電気風呂など
  - ▷脱衣室 トイレ、洗面台、キーリターン式ロッカーなど
  - ▷前室 鍵付きシューズロッカーなど
- 主な特徴点
  - ▷脱衣室、浴室、サウナ室の空間が一回り広くなります
  - ▷床暖房を設置（脱衣室と浴室の一部に）
  - ▷テレビを設置（サウナ室に）
  - ▷電気風呂を設置（浴室に）

農総務企画課  
☎66-2111 内線221

## 水道管の凍結に注意!!

氷点下4度以下は要注意！ 水抜き操作をしっかりと

これからの時期は、油断すると蛇口が凍り、水道管破裂の原因になります。冷え込みそうなときや外出前には、水抜きを忘れずに行いましょう。

■凍結を防ぐポイント ▷氷点下4度以下（風当たりの強い場所は氷点下1～2度）の気温に要注意 ▷真冬日（最高気温が氷点下の日）が3日以上続いたら要注意 ▷水道管に電熱ヒーターなどを巻く

■水道管や蛇口が凍ったら 凍った部分にタオルなどを巻き付け、ゆっくりと「ぬるま湯」をかけてください。熱湯は、急な温度変化により水道管が破裂することがあります。電気解凍機を使う場合は火災が起きないように十分注意してください。解凍は無理せず、町の指定給水装置工事店へご相談ください。

農建設水道課 ☎66-2111 内線248



6次産業の取り組みを熱く語るクローバー畑の中村会長と、ジェラートを味わいながら熱心に聞き入る参加者

6次産業と起業を学ぶ  
ジェラート・クローバー畑  
くずまきジェラート・クローバー畑では、同店を運営する、くずまき乳製品加工研究会の中村和子会長から6次産業の取り組みについて紹介いただきました。  
中村会長は「私たちは今も現役で搾乳をしています。本業と両立して店を経営するためには、仲間と力を合わせていくことが大切」と強調し、参加者はメモを取りながら熱心に話に聞き入っていました。

先輩移住者との交流会  
森のこだま館では、町に移住した先輩移住者との交流会を行いました。  
平成25年に東京から移住し、くずまきワインで働く佐々木亜弓さん（野中）らが、それぞれ移住した経緯や、その後の暮らしを紹介しました。  
参加者は、先輩移住者にさまざまな質問を投げかけ、移住に対するそれぞれの思いを語り合

移住促進に大きな効果  
体験ツアーにご協力を  
参加者の中には、町への移住を具体的に考えている人もいて「もっと詳しく町のことを知りたい」と、再び個人で来町を計画する方もいらっしゃいました。町外の方に、実際に町を訪れたいだけ機会を提供することは、移住促進に大きな効果があり、町では今後も積極的にツアーや町内見学などの受け入れを行う予定です。  
各地域や事業所などを訪問した際には、ご迷惑をおかけしますが、町の魅力PRのため、ご協力をお願いします。

# いらっしやい くずまき通信

移住定住・交流ガイド

## 首都圏から移住希望者9人が来町 町の魅力を体感、移住体験ツアー

11月5日と6日の2日間、県主催の「いわてで働く・暮らす・生きる移住体験ツアー」が行われ、本町には首都圏在住の移住希望者9人が訪れました。参加者は、地域産業や自然などの魅力を体感したほか、先輩移住者との交流会を通じて、本町への関心を高めた様子でした。



④くずまき高原牧場での子牛の世話体験 ⑤先輩移住者との交流会

【相談・問い合わせ先】 総務企画課 いらっしやい葛巻推進室 ☎66-2111 内線221・224・225